

我がまち五島は
他人事じゃなく
我がゴト!

ワガゴト

地域のみんなが頑張りました!

五島市内
13地区

まちづくり協議会 活動報告

**** Thank you for all ****
you have done this year!

今年度に各地区で取り組んだ
あんなゴト、こんなゴトを
紹介するよ!



翁頭山登山道ガードパイプ 設置しました!



大浜地区まちづくり協議会地域振興部会では、5月29日翁頭山登山道にガードパイプの設置作業を行いました。部会員は70代～80代の男性達ですが、豊富な知識と鍛え抜かれた体は近年の青年にも負けず劣らずの皆さんです。職人集団のような手早い作業で、あっという間に立派なガードパイプが設置されました。以前は、手すりがなく、けっして安心できるような登山道ではなかったのですが、部会員さん達が毎年あちらこちらと整備を行い、今では登山愛好家に親しまれる翁頭山になりました。整備のほかにも、翁頭山山頂まで登る登山ツアーも毎年11月頃開催しております。ツアーには地元小中学生が参加します。一般の方の参加も大歓迎です。翁頭山でリフレッシュいかがでしょうか?



初開催&大盛況! 五島シカ肉祭

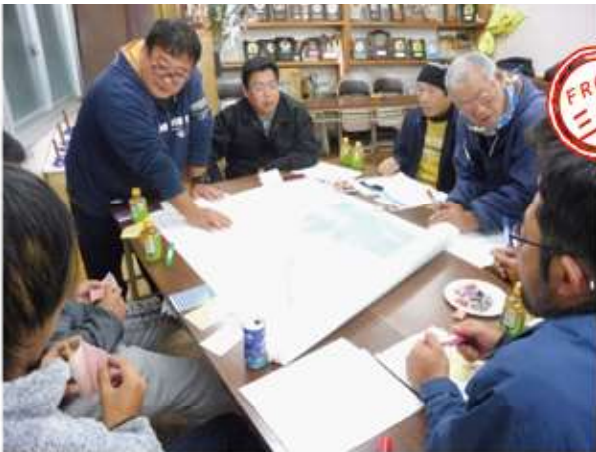


玉之浦町では鹿による深刻な被害が年々増加しています。玉之浦まちづくり協議会では、一昨年から捕獲した鹿を有効活用できないかと考え鹿肉を使った料理の試食などを事業に取り入れてきました。今年はただ鹿肉を試食してもらうだけではなく肉の部位別試食や、家庭にある調味料で作ることができる食改さん考案の料理試食、燻製作り、鹿皮を使用したストラップ作り、鹿の生態等についてのクイズ、鹿にまつわる絵画・川柳の展示を行いました。当日は、捕獲隊の協力やまち協団体による出店もあり、雨にもかかわらず沢山の方々に楽しんでいただけたのではないかと思います。



福江地区のまちづくりを 考える意見交換会

福江地区は、市内13地区のまちづくり協議会の中でも町内会が多く、地区全体での取り組みがなかなか進まない地区です。今回は、なぜこのようなまちづくり協議会の活動が重要なのかを学び、必要な取り組みを考える機会として、2回の研修会、意見交換会を開催しました。将来の地域人口や他地区の事例などを学び、グループワークでは、「福江地区で取り組んでいった方が良い活動は？」をテーマにしました。環境保全活動、祭りイベント、防犯・防災、高齢者の見守りなど様々な分野において、多くの取り組みアイデアが出されました。今後は、さらに意見交換を重ね、具体的な実施計画を策定し、福江地区まちづくり協議会での取り組みにつなげていきたいと思っています。



安全安心な まちづくりのために

三井楽まち協では平成31年4月に安全安心部会が立ち上がり、地域の困りごとを解決し、安全で安心して暮らしていけるよう取り組んでいくことにしました。令和元年12月5日には嵯峨島地区座談会を開催し、住民の方と地域の困り事や解決策などについて話し合いました。嵯峨島は2次離島であり消防、警察署がないため、災害などのもしもの時は島民皆さんが協力し助け合いが必要となります。そこで、そのもしもの災害時を想定して防災訓練を開催することに決定しました。令和2年に入り2回防災訓練会議を行い、3月に防災訓練を実施します。高齢者で助けが必要な方を支援しながら避難し、炊き出し訓練もする予定です。令和2年度以降は三井楽の他地区でも同様に行っていく、全地区での防災訓練実施を目指します。



地域の世代交流！ ベタンク大会・郷土料理

令和元年10月、【第2回 本山地区ワイワイ3世代ベタンク大会】が開催されました。今大会は、前回よりも小学生の参加が増え当日は各コートで白熱した戦いが繰り広げられました。また、郷土料理継承事業として大会前日に公民館のこども教室と共催し、野々切地区の講師の先生方と郷土料理の「かんまぜ」「てのひらだんご」を地域の子供達、保護者の方々と一緒に作りました。「かんまぜ」はベタンク大会当日の朝食として振る舞い、大好



評でした！大人数で食べる朝食は大変賑やかで、その後のベタンク大会への活力に繋がったと思います。元気な本山地区がもっと元気になるよう、日々の活動を頑張りたいと思います！



13地区の皆さん！
新年度も一緒に
頑張りましょう！



あなたのまちの

まちづくり協議会連絡先

- 富江 五島市富江町富江165番地1
tel 0959-86-1161
- 玉之浦 五島市玉之浦町玉之浦763番地
tel 0959-87-2216
- 三井楽 五島市三井楽町濱ノ畔1473番地1
tel 0959-84-3162
- 岐宿 五島市岐宿町岐宿2535番地
tel 0959-82-1117
- 奈留 五島市奈留町浦1818番地1
tel 0959-64-3203
- 奥浦 五島市奥浦町1611番地1
tel 0959-73-0939

- 崎山 五島市上崎山町20番地1
tel 0959-73-6389
- 本山 五島市堤町1320番地
tel 0959-72-3630
- 大浜 五島市浜町117番地
tel 0959-73-5431
- 梶島 五島市本窯町8番地1
tel 0959-78-2101
- 久賀 五島市久賀町217番地3
tel 0959-77-2001
- 福江 五島市福江町1番1号
tel 0959-76-3070
- 緑丘 五島市福江町1番1号
tel 0959-76-3070

ワガゴト

第4号 2020年2月29日発行

ご紹介したまち協活動は、この一年間のごく一部。地域の見えないところでまちのために動いてくれた人がいることを私たちは知っています。地域のみなさん、ありがとう。新年度も「地元が大好き」の気持ちを集結して、まちづくりを継続していきましょう。



まち協Instagram始めました！
アカウント「machikyo_goto」で随時投稿中！

(ワガゴト第4号担当集落支援員)

畑中智江美、新要子、平田友美、奥野恵美
岩野祐子、鎌田智美

お問い合わせ

五島市地域協働課地域づくり協働班
五島市福江町1-1 tel 0959-76-3070



「お祭り男」初の募集

毎年10月に行われる杵島のお祭りで、「お祭り男」の募集を行いました。これまでは杵島の関係者等にだけ声をかけており、今年度初めての試み。男性限定ではありますが、神輿の担ぎ手「六尺」としてお祭りを体験する参加者を一般から広く募集しました。本祭は10月第3週の土日の2日間、伊福貴は第4週の日曜日にそれぞれお祭りをを行い、合計8名の参加者に加え女性の見学者の方にも来ていただきました。「同じ島のお祭りだけどそれぞれ雰囲気違っておもしろく、どちらも楽しかった」と両方のお祭りを体験した方からも好評でした。古くから続く地域伝統のお祭りを守っていくためにも、新しいアプローチが必要となっています。

これからもますます、お祭りを盛り上げていきたいです！



自分のまちのことを語り合う「島トーク」

住民のみんなでワンテーマで話し合う「島トーク」を開催しました。10月9日～11月6日の期間中に用意したのは、教育・イベント・奈留町の未来など全5つ。事務局では、飲みながらリラックスしておしゃべりしたいと軽食も準備しました。「来てくれるかな…」と不安でしたが、子育て中のお母さんたちや移住者、教員、イベント主催者など様々な立場の方が参加して下さいました。「小中高と地域の運動会を合同できないかな？」等の具体的な提案から、「島内FMを作って、船情報や天気などその日に使える情報を流そう！」という楽しいアイデアまで、様々な意見がでました。これらの意見は来年度の事業に反映する予定です。新年度も地域の皆さんと奈留町ならではの企画に取り組んでいきます！



地域から始める認知症フォーラムinきしく

岐宿に住む高齢者が住みなれた地域で暮らし続けるために、認知症を知り、地域住民がお互いに助け合い、支え合う地域づくりを目指そう！と、地域安全安心部会で何度も協議を重ね、開催に至りました。前半は、「高齢者の安全運転」と題し、五島警察署中岳駐在所の犬東竜也所長に講演していただき、後半は「認知症を正しく学びましょう」と題し、五島市長寿介護課 地域おこし協力隊の田代元輝氏に講演をしていただきました。3か所合計121名の参加があり大盛況に終わりました。アンケートでも「どの話もよく理解できた」「安全運転に心がけたい」「今後もこういったフォーラムを年に3～4回やってほしい」「懐かしい顔に出会えて良かった」等の感想をいただき、部会員の喜びもひとしおでした。



今年もやります！ 箕岳夜桜ライトアップ

岐山のシンボルでもある箕岳は、桜の名所としても有名です。その箕岳の桜を活かして、「岐山の交流人口を増やしたい！」という会員さんの提案で、夜桜のライトアップを復活しました！夏まつりの提灯を利用し、昼間に見る桜とは一味違う幻想的な夜桜を演出します。昨年3月～4月、ライトアップの提灯設置、撤去には、まちづくり協議会員、町内会役員の協力を頂きました。今年も桜の開花に合わせて（3月下旬～4月初旬）の設置になります。春がくるのが待ち遠しいです。今年のお花見にはぜひ、岐山の夜桜鑑賞の計画を入れてみてはいかがでしょうか。

地域みんなが頑張りました！

五島市内
13地区

まちづくり協議会 活動報告

各地区の担当集落支援員が
お伝えするよ～!!



感動！ 陣屋石蔵太鼓祭

陣屋石蔵とは、350年以上前に築かれた貯蔵庫で、厚さ1メートル程の壁には富江産玄武岩が隙間なく積み上げられています。富江バラモン会所属の神田さんは2017年に東京から富江町に移住し、この陣屋石蔵の放つ美しさに魅力を感じ、多くの人に知ってもらう為、石蔵の前で和太鼓を演奏する演出を考案したそうです。その後、富江まちづくり協議会の新規事業募集に名乗りを上げたところ見事採択され、10月4日のイベント当日にはライトアップされた石蔵の幻想的な雰囲気の中、約300人もの人で賑わいました。来場者からは「史跡がきれいで感動した。富江出身であるが、史跡があることを知らなかった」という感想を頂きました。今後も頂いた意見を集約し、地域の個性を生かした「まちづくり」を行っていきます。



ようこそ！ 幻想的な世界へ

6月1日毎年恒例の蛍鑑賞会、今年も110名を超える参加者に集まって頂き行われました。まず、奥浦小学校体育館で蛍かご作りを行いました。例年は葉で作っていた蛍かごですが、今回はい草を中心に使ってみました。葉は少し折れやすく、低学年には少々難しかったようですが、い草に変えたことで多くの子どもたちが上手に作る事が出来たようです。次は、場所をカップ公園へ移し、蛍についての生物講義と蛍鑑賞会が行われました。今年は、5月中旬より蛍が飛び交う姿が見られており、鑑賞会当日まで蛍が見られるかとても心配でしたが、これまでにないくらいの沢山の蛍の数に、多くの方に喜んで頂く事が出来たようです。



今年度も島民が熱狂

10月6日に「久賀島安全なまちづくり教室&ベタンク大会」を行いました。久賀駐在所長による交通安全教室では、悲惨な事故の話に参加者全員が真剣に耳を傾け、島内の交通事故の起こりやすい箇所、シニアカー運転時の注意点などを学びました。そして、ここからがメインイベントのベタンク大会のスタート（駐在さんごめんなさい…）！日頃中々会うことのできない島民同士の交流。老若男女交えての楽しい時間。賞品提供も多数あり参加者全員楽しい時間を過ごしました。



防犯防災ハザードマップ 作成事業

緑丘地区を「防災意識を高め、住みよいまち」にすることを目的に実施した事業です。第1回事業ではまちあるきで地域の「危険」と「安全」を探し、防災マップを作成しました。雨の中での実施でしたが「普段気がつかない危険な場所があった」と新たな発見もあり、地域の課題や資源を再確認しました。第2回事業は中学生と協力しての「防災グッズ作成」と「炊き出し体験」でした。中学生の指導で、段ボールと新聞紙を使って簡易トイレ・スリッパなどの防災グッズを作り、その後、非常時を想定して1人1品ずつ持ち寄った食材での炊き出し体験をしました。非常食の試食も行い、災害時の心構えを学びました。地域住民と中学生が協力して地域の防災意識向上に取り組んだ良い機会となりました。